

2008年トップが綴る 一日一話

仕事の指針・心の座標軸

私を支えた三言葉

PHP研究所 編



大卒職人集団

(株)平成建設 社長 秋元久雄あきもとひさお

わが社は建築業界において唯一内製化が進んでいる特異な会社だと自負しております。内製化とは、設計、CG、施工管理、主要な建築構造の製作、また販売に関するサービス、会社運営に必要なシステムの構築等、可能な限り自前でやることです。おかげさまで平成元年に創業以来、業績も順調に伸びて現在に至りました。大卒の職人(社員)は百数十人になり、スタイルが完成して指導者も増えてきたので、私が社長のうちには数百人程度までになると思います。家を造るのは職人なのに、なぜ大学を出て就職する時には設計や施工管理なのか。そんな単純な疑問に私は挑戦(創業)してきたのです。大学の建築・土木学科、他の学科の学生の中にも私のこの考え方に共感する者、やってみたい者が多くいるのではないかと思い、リクルートを始めました。案の定、彼らはやりたくても行き場と環境がありませんでした。たしかに一人前に育てるには膨大なコストがかかります。しかし彼らを育成できる会社は唯一わが社しかありません。これが現実です。すでに職人不足が始まり、日本建築の伝統と文化の行く末が危惧おそろしされます。

さて、私のこのような発想の原点となった考え方をいくつか紹介します。「皆と同じことをしない」「大勢で橋をわたらない」「大勢で舟には乗らない」だけど「大勢で食べるメシはうまい」「安全な道に成功はない」「森を親てから木を見よう」「原点を考えてから出発しよう」「人は好きなこと・楽しいことをやれば伸びる」。そして、「誰でも適財あてふちになれる」。